

タイトル JAバンク岩手における農地等流動化対策資金の取扱い

JA名 JA岩手県信連

1 動機 (経緯)	営農継続が困難となった農業者が所有する農地等について、当該農地等の取得を希望し経営規模拡大を目指す農業者等に対して必要な資金を融通し、経営資源の円滑な承継、有効活用を通じて、担い手育成ならびに地域農業の振興に資することを目的とし平成 18 年に資金を創設しました。
2 概要	資金の概要 資金使途：営農継続が困難な農業者が所有する農地等の取得資金 貸付利率：1.00%固定（各県連（県信連、共済連県本部、全農県本部）より利子補給あり実質無利子） 貸付期間：15年以内 取扱期間：平成 22 年度末まで
3 成果 (効果)	平成 18 年度に県下統一資金として創設し、県内全 JA にて取扱中。 H20 年度融資実績 30 件 116 百万円 H21 年度融資実績(第 3 四半期時点) 14 件 77 百万円 資金創設来の累計実績は、111 件 531 百万円となっており、経営資源の円滑な承継、また、耕作放棄地の未然防止にも相応の効果を発揮しているものと考えられます。
4 今後の 予定(課題)	昨今、耕作放棄地問題が全国的な課題として取り上げられていますが、JAバンク岩手としては、各連の協力を取り付け、本資金の活用や新資金創設等により、一層農業経営資源の承継対策を講じ、耕作放棄地問題への対応を図る予定です。